



7月27日(土)～28日(日)の2日間にわたり行われた全日本ラリー選手権第5戦「モンレー in 群馬 2013」(会場：渋川市総合公園、TRD ラリーチャレンジ Round 3 in モンレー併催)に、当振興

会会員と事務局がテントブース出展しました。

モンレー in 群馬は、全日本ラリー選手権の各レースの中でも高い集客力を持つイベントとして定評があり、今年は2日間で約2万6000人のギャラリーの動員を達成したようです。

会場内の渋川・伊香保ラリーパークに設けられた自動車関係ブースエリアには、当振興会の会員11社(アサヒライズ FET 事業部、エイチ・ピー・アイ、エムケーカシヤマ、エンドレスアドバンス、小倉クラッチ、キャロッセ、ブリッド、PIAA、レイズ、YFC、ワーク)及び事務局がテントブースを出展。会場に足を運んだラリーファン等に最新のアフターマーケット製品をアピールしました。

なお、会期中は様々なデモ走行が行われ、NAPAC 走行会に毎回、協力頂いています炭山裕矢選手(キャロッセ)がBRZで豪快なドリフト走行を披露しました他、エンドレスレディやクスコ・ジュニアチーム等によるキャンギャルオンステージが行われ、イベントに華を添えました。





ギャラリーを盛り上げながら豪快なドリフトを決める炭山裕矢選手(キャロッセ)



エンドレスレディやクスコ・ジュニアチームによるダンスステージ



併催企画「TRDラリーチャレンジ」に参戦したモリソウ選手の86